

hand in hand

大曲支援学校
地域支援部
令和7年12月23日

「ひとつずつ、できることを増やして:Aさんの就職までの道」

進路指導主事 柿崎 貴之

令和6年度の卒業生Aさんは、現在、地域の一般企業で清掃を中心とした業務に従事しています。自分から笑顔で挨拶ができ、年下の子ども達にも優しく気配りができる生徒でした。ここでは、Aさんが卒業に至るまで身に付けていった力の一部を紹介します。

<小学部>

- ・地域の小学校(知的特別支援学級)から転校してきました。新しい環境になじみ、教室ドアのガラス拭きや玄関掃除を毎朝頑張っていました(小学部では「みんなのためのおしごと」として全児童に役割があります)。
- ・大好きな先生がいましたが、距離感のつかみ方に課題があり、周囲とのコミュニケーションで困る場面も見られました。

<中学部>

- ・1年生から寄宿舎に入舎し、集団生活の中で我慢する力や衛生意識が育ちました。「清潔にする力」が自分に必要だと気づき、髪型などの身だしなみにも気を配るようになりました。
- ・学習場面では、自分から周囲を手伝ったり自分の経験談を交えた感想を話したりするなどの成長が見られました。作業学習では、素直さを褒められることが多い生徒でした。

<高等部>

- ・現在就職している事業所で地元実習(*)を経験しました。回を重ねるごとに、受け答えの声が大きくなり、はきはきとしたやりとりができるようになりました。できる作業も増え、従業員の方に「とても助かっている」との声をいただいています。
- ・寄宿舎では卒業後の一人暮らしを見据え、自炊の練習にも取り組みました。
*地元実習～職場実習の一つで、実際の通勤を想定し、自宅から職場へ通う形式の実習。Aさんは将来を見据えて、グループホームから徒歩と路線バスで通いました。学校から職場に通う実習を現場実習と呼びます。退勤後、学校に戻り、実習の振り返りを担任と行います。

<現在>

- ・現在はグループホームから事業所に徒歩や路線バスで通勤しています。卒業後に運転免許を取得し、週末、帰省した際は家族とドライブを楽しんでいるそうです。

働くためには、心身の健康を基盤として、周囲と円滑な人間関係を築く力や、素直な態度で作業に取り組む姿勢が必要になります。段階的な指導はもちろん、本人の「働きたい」という強い思いと、卒業後の生活を具体的に思い描くことも大切です。また、受け入れ先の事業所の理解や協力も欠かせません。

本校ホームページには進路指導部報を掲載しておりますので、ぜひ御覧ください。

せんもんかんの部屋

ふくでん

福伝ROOM No. 4



校舎奥に見える福伝山

教諭(兼)教育専門監 菅原咲希子

共に育ち 共に学ぶ

本校では、今年度も交流及び共同学習として、学校間交流や居住地校交流、地域の方々との交流などを実施しています。その中の一つである居住地校交流は、本校の子どもたちが自分の住んでいる地域の学校に行き、友達と一緒に学習するものです。本校の子どもたちにとっては、自分が住んでいる地域で人間関係を広げ、豊かに暮らしていくために、地域の同年代の子どもたちと交流を深める機会となります。また、地域の学校の子どもたちにとっては、地域の仲間として関わりながら障害に対する理解を深めていくことができます。今年度は小学部児童39名、中学部生徒7名が交流を希望し、15校の小学校、6校の中学校で居住地校交流を行わせていただいています。

先日、居住地校交流をはじめて行う小学校1年生の学級へ、交流に向けた事前学習として障害理解授業に伺わせていただきました。本校のことや交流する児童のことを紹介し、児童が初めてのことに少し不安も感じていることを伝えると、みんなが笑顔になるためにどんなふうにしたらよいか、自分たちができることを考え、たくさんの意見を出してくれました。交流当日も、本校児童のペースに合わせて一緒にゲームをしたり、「(支援学校の)〇〇さんが～と思うかもしれないから～しよう」と相手の気持ちを考えて行動したりする姿があり、初めて出会った友達も多い中で本校児童にも笑顔が見られました。

これからも、交流及び共同学習が、どちらにとっても、経験を深め、社会性を養い、豊かな人間性を育むとともに、お互いを尊重し合う大切さを学ぶ機会として充実したものとなるように進めていきたいと思っています。

※ 本校では、交流及び共同学習の実施にかかわらず、障害理解授業のお手伝いをさせていただいております。お気軽に御相談ください。



リーフレットは、本校HPに掲載しています。

【参照】秋田県教育委員会（R7.3）：交流及び共同学習にかかるガイド～共に育ち 共に学ぶ～（改訂版）
秋田県教育委員会（R6.3）：秋田県特別支援教育校内支援体制ガイドライン（四訂版）

相談・見学等の希望がありましたら、御連絡ください。

秋田県立大曲支援学校

教 頭：佐藤 茂樹（さとう しげき） 川越 真紀子（かわごえ まきこ）

教 育 専 門 監：菅原 咲希子（すがわら さきこ）

地域支援部主任：丹波 舞子（たんば まいこ）

特別支援教育コーディネーター：熊谷 道大（くまがい みちひろ）森 愛子（もり あいこ）

特別支援教育アドバイザー：大沢 貴子（おおさわ たかこ）（大仙市立花館小学校内）

〒014-0072 秋田県大仙市大曲西根字下成沢122

電話：0187-68-4123 FAX：0187-68-4122

部報「hand in hand」や依頼状の様式等は、大曲支援学校 HP からダウンロードできます。